

プロジェクトデザインマトリックス (PDM) \*仮和訳

タンザニア国キリマンジャロ農業技術者訓練センター計画フェーズII

期間: 2001.10.1 - 2006.9.30  
 ターゲットグループ: 灌漑スキームの稲作農民  
 プロジェクト地域: 選定された灌漑スキーム  
 作成日: 18/11/2004

要約	指標	入手手段	外部条件
スーパーゴール			主要な政策の変更がない
上位目標 KATCの研修が実施された地域及びその周辺地域においてコメの生産性が向上する	1 2010年までに、研修実施サイトと周辺地域のサンプル農家の平均収量が2002年の国家平均 (2.5t/ha) と比べ、25%増加する 2 2010年までに研修実施サイトと周辺地域の米生産の収益率我が2002年に比べて向上する	1. ベースライン調査 2. 研修参加者報告書 3. モニタリング報告書	収入が生活の水準向上のために用いられる
プロジェクト目標 KATCの研修を通じてモデルサイトのコメの生産性が向上する	1 2005年までに各モデルサイトのサンプル農家の米単収が2002年に比べて12~43%増加する 2 2005年までに全てのモデルサイトで米生産の収益率が2002年に比べて向上する 3 2005年までに全てのモデルサイトで適切に水管理された圃場が2002年に比べて増加する	1. ベースライン調査 2. 研修参加者報告書 3. ローカルコンサルタント調査報告書 4. 営農調査 (ターゲットは20中核農家、30中間農家、10一般農家) 5. 収穫調査	農業政策が変更しない
成果 1 モデルサイトに対するコンセプトとアプローチが確立する 2 KATCの研修ニーズを把握する能力が向上する 3 KATCの灌漑稲作生産性に関する技術研修プログラムが強化される	1 2002年8月末までに6ヶ所のモデルサイトが選定基準に基づき選定される 2-1 全ての研修の開始時点において、90%以上の研修参加者がニーズに合致した研修内容であると合意する 2-2 80%以上の研修について、80%以上の研修参加者が質問票でAあるいはBと評価する (A:Excellent, B:Very Good, C:Good, D:Fair or Satisfactory, E:Poor) 3-1 2005年までに、中核農民の80%が少なくとも基礎的農業技術を導入し、中間農民の80%が少なくとも1つの基礎的農業技術を導入する 3-2 2005年までに、中核農民や農業普及員による現地研修活動を通じて、全てのモデルサイトにおいて稲作技術標準が確立される 3-3 2005年までに、各モデルサイトの技術マニュアル完成版が現地ニーズに基づいて作成される 3-4 DADPの実施ツールとしてKATC研修を県が適用できるよう、簡易版研修プログラムが開発される	1. 合同調整委員会議事録 2. 選定基準 1. 研修報告書 2. 質問票 3. 各研修の評価 1. 研修報告書 2. モニタリング報告書 3. 稲作セクション要約の技術標準 4. ローカルコンサルタント調査報告書 5. 営農調査 6. 研修報告書	研修参加者が灌漑スキームに残る 県レベルで稲作技術の改善と普及活動実施の重要性が理解される
4 灌漑事業地の制度体制を改善するための研修プログラムが強化される	4-1 コストシェアの観点から、県農業調整官事務所、灌漑スキーム、灌漑ゾーン事務所、KATCの共同で、各サイトの実施計画 (IP) が作成、実施、改良される 4-2 2005年までに、各モデルサイトの職員、中核農民、中間農民によって、農民作物栽培カレンダー・計画が作成、実行、評価される (農民作物栽培カレンダー・計画には次の計画を含む: 農作業計画、配水計画、水路維持管理計画、組織活動) 4-3 2005年までに、各モデルサイトにおいて水利組織の活発なメンバーシップが2002年と比べて向上する (『活発なメンバー』とは水利組合費を支払い、水路維持管理活動に参加していることを指す。) 4-4 プロジェクト終了までに、組織強化のためのマニュアル・ガイドラインが作成される	1. 研修報告書 2. 農民作物栽培カレンダー 3. 評価報告書 4. インタビュー 5. セミナー・ワークショップ 6. ローカルコンサルタント調査報告書 7. フィールドサーベイ	
5 有益な灌漑稲作栽培に関する情報を収集、発信するKATCの機能が向上する 6 灌漑稲作生産に関する技術研修の計画、実施、モニタリングにジェンダーを組み入れるコンセプト、アプローチが確立する	5-1 2006年までに、検索データベースと情報データベースが確立される 5-2 2006年までに、スワヒリ語4刊と英語2刊のニュースレター、年次技術進捗報告書が作成される。KATCウェブサイトが開設され、毎月更新される。 6-1 POIに基づいたジェンダーチェックリストに従って、プロジェクト活動が実施される 6-2 プロジェクト期間を通じて、モデルサイトのジェンダーニーズを考慮し、中核農民コースと現地研修の女性参加者の割合が45%以上となる 6-3 2006年までに、少なくとも1つはジェンダーニーズに基づいた特化研修がモデルサイトで実施され、適用される。	1. データベース 2. ニュースレター、進捗報告書 1. ベースライン調査報告書 2. 研修報告書 3. モニタリング報告書 4. ローカルコンサルタント調査報告書 5. ジェンダーチェックリスト	
<b>活動</b>	<b>投入</b>		<b>外部条件</b>
1-1 開発ポテンシャルを確認する40灌漑スキームの状況調査 1-2 40灌漑スキームの灌漑管理者、農業普及員、中核農民に対する灌漑稲作技術に関する集合研修の実施 1-3 合意された基準に基づいたモデルサイトの選定 2-1 状況や課題の同定及びモニタリングのベースライン収集のための調査の実施 2-2 収集した情報の分析 3-1 各モデルサイトの灌漑稲作技術向上のための活動計画の作成 3-2 KATCで、農業普及員やモデルサイトの中核農民に対する (女性農民への特別な配慮をした上で) 灌漑稲作技術の研修コースの実施 3-3 各モデルサイトで、農業普及員や中核農民 (女性農民への当別な配慮をした上で) 灌漑稲作技術の現地研修の実施 3-4 モデルサイトにおいて、研修参加者に対して灌漑稲作についての技術支援を実施 3-5 各モデルサイトでの研修参加者の活動状況をモニタリング 3-6 KATC研修の適用性を確認	<b>日本国側</b> 1. 日本人専門家派遣 (1) 長期専門家 (最高5人) チーフアドバイザー 調整員 他長期専門家 ・普及/農民研修 ・稲作 ・水管理 ・営農 (2) 短期専門家 2. 機材供与 3. 研修員受入 4. 調査団派遣	<b>タンザニア国側</b> 1. 人材の配置 (1) プロジェクトダイレクター (2) プロジェクトマネージャー (3) 他のC/P配置 ・普及/農民研修 ・稲作 ・水管理 ・営農 (4) 短期専門家のC/P配置 (5) 事務員の配置 (6) 他必要と双方合意された人材の配置 2. ローカルコスト負担 3. 必要な土地、建物、施設の提供	灌漑稲作に適当天候が維持される
4-1 県、スキーム、灌漑事務所と共に、各モデルサイトについての実施計画 (IP) の作成、実施、改良 4-2 モデルサイトの水利組織の管理の向上 5-1 情報管理システムの確立 5-2 情報の収集と分類 5-3 関係機関や関係者に情報の提供  [ジェンダー関連活動は上述の活動に反映される。ジェンダーを単独の領域で扱わない。] 6-1 モデルサイトでのジェンダー研修ニーズを同定し、実施計画への統合 6-2 ジェンダーに配慮した灌漑稲作の技術研修の計画、実施、モニタリング 6-3 灌漑稲作生産についてのジェンダー関連情報の構築			<b>前提条件</b> 選定された灌漑スキームの稲作農民がプロジェクト目標に合意する。 タンザニアの安全状況が安定しており、KATCの財産の安全が確保される。

\*sample farmer : directly and indirectly contacted farmer